

# 拓水

6月号  
No. 249

発行所

兵庫県漁業協同組合連合会  
兵庫県水産改良普及協会  
〒652 神戸市兵庫区中ノ島2-2の1  
兵庫県漁業協同組合  
発行人 山田岸松  
会長理事 山田岸松  
TEL 681-6954~7  
一部 10円

## 兵庫県漁連

### 第一回通常総会開催

#### 永年勤続を表彰

昨年九月に合併によって新発足した兵庫県漁連の第一回通常総会が、去る五月十三日に水産会館大会議室で開かれた。会長挨拶のあと山口副知事は、来賓挨拶のなかで、本県は最上級の漁業県であることを誇りに思うと強調した。その後、中川三三理事長が議長を譲り、議事に入った。当日の総会出席者は、百三十五名であった。

#### 初年度の事業計画を大巾に達成

総会では、五議案が上程して新たな販売業務を開発され、審議の結果、全議案すく、その推進に努力してまいりました。昭和五十一年度事業報告ならびに昭和五十二年事業計画は次のとおりである。

#### 昭和五十一年度事業報告

##### (一)購買事業

石油は、異常寒波による操業度の低下と海苔生産の低迷等に起因して重油の需要は減少したが、灯油を中心とする暖房関係の需要は増大し、当初計画を達成することができた。

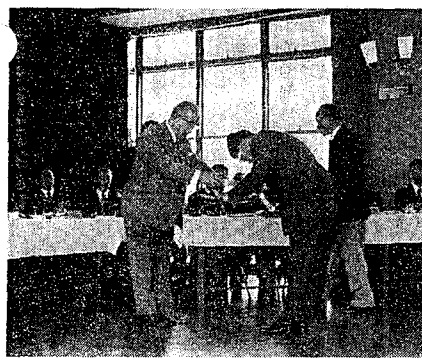
##### (二)販売事業

販売事業は、第一生産期確保が重要で、第一生産期確保、第二生産期確保、第三生産期確保の三つの生産期を確保し、販売の拡大を図る。また、漁業者の経済的負担を軽減し、漁業の発展に貢献する。

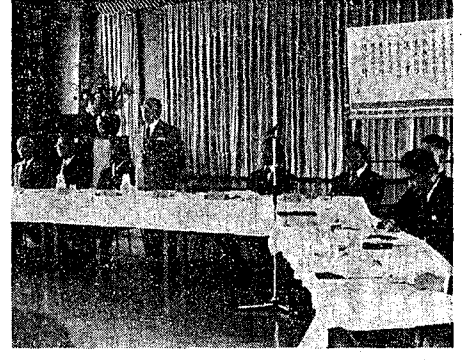
# 合併漁連初の通常総会

#### 販売事業

販売事業は、第一生産期確保が重要で、第一生産期確保、第二生産期確保、第三生産期確保の三つの生産期を確保し、販売の拡大を図る。また、漁業者の経済的負担を軽減し、漁業の発展に貢献する。



永年勤続表彰をうける家島漁協参事



系統組織力の強化を強調する山田会長

#### 昭和五十二年事業計画

##### (一)購買事業

石油は、OPECによる値上げが実施されているが、今回の値上げは二木建てで実施されるという異例のものであり、OPEC十三ヶ国のうち強硬派の十一ヶ国はすでに七月からの五分アップを発表し、また為替レートとのからみなどから、複連な市場環境になると思われる。本会としては、的確な情勢の把握に努め、事業推進体制の強化をはかる。

##### (二)販売事業

販売事業は、第一生産期確保が重要で、第一生産期確保、第二生産期確保、第三生産期確保の三つの生産期を確保し、販売の拡大を図る。また、漁業者の経済的負担を軽減し、漁業の発展に貢献する。

#### 操業安全へ総力の結集

##### 兵庫県瀬戸内海漁業操業安全協会誕生

海難事故の防止、安全操業の確保、漁業の振興を三本の柱として、去る五月十三日午前十時神戸市生田区一の内兵庫中央労働センターにおいて、瀬戸内海側全漁業協同組合加入のもと、兵庫県瀬戸内海漁業操業安全協会が、孤々の声を挙げ、これらに因する企業側に、強く呼びかけるとともに、行政当局に対して、積極的に要請を続けて参りましたところ、強い認識を以て、短期三、四ヶ月以内に、設立を見ましたこと、誠に喜ばしいことであると見受けられます。

#### 海難遺児系統募金

##### 一〇〇〇万円突破

第二期海難遺児系統募金運動(昭和四十九年十一月の活動計画の一つ)を取り上げて、目的達成の一歩を踏み出したこと、誠に喜ばしいことであると見受けられます。

この運動開始以来三年に亘ってご協力され、期日までに募金目標を達成されましたこと、誠に喜ばしいことであると見受けられます。

兵庫県瀬戸内海漁業操業安全協会設立趣意書

瀬戸内海は国民にとって貴重な漁業資源の宝庫として、その恵沢を国民がひとしきり享受し後代の国民に継承すべきものである。

加えて最近の国連海洋法会議の動向からみて、沿岸漁業、就中、瀬戸内海の今後を課せられた使命は、更に重要なものとなりつつある。本県内海における船舶の航行は、臨海部の工業開発に伴い、年々複雑化の一途を辿り、実地調査によれば、明石海峡においては我が国唯一の海上過密海域を出現している。

この現状は、紀淡、明石、鳴門海峡等の狭水道をはじめ主要航路と好漁場が甚だしく重複し、海上交通の複雑化に伴って漁業操業が著しく制約されているのみならず、海難事故による漁船、漁具の被害が増加し、悲惨な人身事故も絶たない現状である。かかる情勢にあるとき、漁業操業の安全を図り漁業生産を高めるため、関係漁民一丸となって自主的組織を結成して、難局を打開することが、何よりも緊急かつ肝要であると考えらる。

かねてから、海上交通と漁業操業安全の問題については、国及び県の抜本的な対策を要望し続けてきたところであるが、漁民組織の設立により更に積極的、かつ自主的な努力を重ねると共に、行政当局に対して組織的かつ要請を続け、海難事故の絶滅を期し、本県水産行政施策と相俟って、漁業の振興と漁民生活の安定向上に寄与せんとするものである。

昭和五十二年四月十九日 設立発起人一同

長から、理解と協力について暖い祝辞を載せ、盛会のうちに、幕を閉じました。設立時の役員職名は次のとおりであります。

会長理事 山田岸松(神戸市西區漁協)

副会長理事 高松光次(林崎漁協)

副会長理事 岩城賢治(岩崎漁協)

理事 炭谷恒男(明石浦漁協)

理事 河村秀治(高砂漁協)

理事 清水一男(網干漁協)

理事 小林政太郎(坊勢漁協)

監事 中川三三(津浦漁協)

監事 榎本実(東由良町漁協)

事務局長 岩間省三

遺児を助ます全国協議会および漁船海難遺児育英会よりの「感謝状」が贈呈されました。

現在、全国で二、九四九名(兵庫県では小学生九名、中学生三名、高校生三名、合計一六〇名)の子弟達がこの海難遺児育英会制度を利用して勉学に励んでいます。

これからもこの子弟達が明るく健やかに育ってゆきますように。皆様と共に見守ってまいりますと思ひます。

▽ △

神戸市 倉見 漁協) 網正次郎(洲本漁協) 藤吉一(森漁協) 九崎(養育漁協) 地通勝次(宮町漁協) 坂口市(淡路漁協) 森本勝巳(泉水産公舎漁協) 坂本実(東由良町漁協) 岩間省三

協会誕生と操業安全を折って乾杯

### 関係団体総会概要

開催日時	開催場所	提出議案	役員
兵 庫 県 漁 連 昭和52年 5月23日 10時30分	兵庫県水産会館 大会議室	第1号議案 昭和52年 度事業報告書、財産目 録、貸借対照表、損益 計算書及び剰余金処分 案について 以下 第6号議案	会 長 山田 岸松 副 長 神頭 宇一 専務理事 森 重次 理事 西上 重次郎 監 事 堀谷 恒男 代表監事 堀谷 光次 監 事 高浜 光次 監 事 清水 一男 監 事 小林政太郎 監 事 小社 直美 監 事 九一 晴美 監 事 地道 勝次 監 事 堀部 竜三 監 事 木下 重明 監 事 坂井 一郎 監 事 坂口 吉造
兵 庫 県 信 漁 連 昭和52年 5月16日 13時	同 左	第1号議案 昭和52年 度事業報告書、財産目 録、貸借対照表、損益 計算書及び剰余金処分 案について 以下 第11号議案	会 長 西上 重次 副 長 山田 河村 専務理事 坂口 賢治 理事 天野 岩城 監 事 松井 重明 代表監事 木下 清 監 事 中川 竜三 監 事 酒部 安達 監 事 高浜 光次
兵 庫 県 漁 業 共 済 組 合 昭和52年 5月17日 13時	同 左	第1号議案 昭和52年 度事業報告書、財産目 録、貸借対照表、損益 計算書及び剰余金処分 案について 以下 第6号議案	組 長 西上 重次 副組長 岸松 重明 専務理事 松井 純雄 理事 高浜 光次 監 事 丸一 晴美 監 事 山崎 正三 監 事 橋本 与助 監 事 日野 貞良 監 事 高田 地道 代表監事 高田 地道
兵 庫 県 内 海 漁 船 保 險 組 合 昭和52年 4月28日 10時	県 民 会 館	第1号議案 昭和52年 度事業報告書、財産目 録、貸借対照表、損益 計算書及び剰余金処分 案について 以下 第6号議案	組 長 神頭 正次郎 副組長 浅井 山田 専務理事 河村 秀治 理事 清水 一男 監 事 森 吉一 監 事 炭谷 恒男 監 事 高浜 光次 監 事 坂口 八郎 監 事 登日 富男 代表監事 坂口 八郎 監 事 登日 富男
但 馬 漁 船 保 險 組 合 昭和52年 5月2日 13時30分	但馬漁業センター 大会議室	第1号議案 昭和52年 度事業報告書、財産目 録、貸借対照表、損益 計算書及び剰余金処分 案について 以下 第3号議案	組 長 西上 重次 副 長 小林 清三 理 事 木下 市三 理 事 永田 重明 理 事 村瀬 和夫 理 事 畑中 昌之 理 事 安達 吉造 理 事 山崎 正市 理 事 藤原 順三 理 事 玉川 周三 理 事 川口 茂
兵 庫 県 漁 業 信 用 基 金 協 会 昭和52年 5月17日 10時	兵庫県水産会館 大会議室	第1号議案 昭和52年 度事業報告書、財産目 録、貸借対照表、損益 計算書及び剰余金処分 案について 以下 第3号議案	理 事 長 小野 賢一 副 理 事 長 山田 岸松 理 事 西上 重次 理 事 堀谷 恒男 理 事 矢野 太市 理 事 川野 源之助 理 事 西尾 忠 理 事 木下 清 理 事 松井 重明 理 事 大野 敬一 理 事 小川 剛造 理 事 安達 秀雄 理 事 堀 実
兵 庫 県 水 産 公 営 対 策 基 金 昭和52年 5月19日 10時30分	兵庫県水産会館 大会議室	第1号議案 昭和52年 度事業報告書、財産目 録、貸借対照表、損益 計算書及び剰余金処分 案について 以下 第4号議案	理 事 長 坂井 時忠 副 理 事 長 山田 岸松 専務理事 森本 勝巳 理 事 小野 敬一 理 事 大野 博 理 事 土生 博 理 事 神頭 宇治 理 事 河村 秀治 理 事 高浜 光次 理 事 清水 一男 理 事 吉一 賢治 理 事 岩城 竜三 理 事 酒部 竜三 理 事 坂口 重明 理 事 西上 重明 理 事 松井 重明 理 事 酒木 学 理 事 丸一 晴美 ※ 企業関係選出役員 を除く

### 漁業金融の使命を になう信漁連の業績

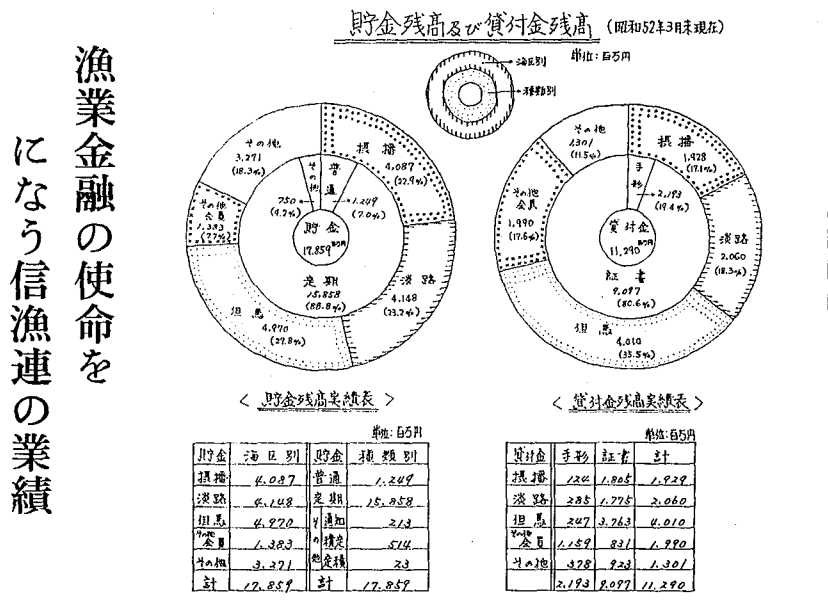
去る五月十六日に第二六回通常総会も無事終了しました。ここに昭和五十一年度における当会の業績を図表に示してご覧いただきたく存じます。

貯金総額は一七八億円で、前年度より二、三パーセントの増加となっております。総額のうち定期貯金が一五八億円で八・八パーセントを占めております。

貸付金総額は一三億円で、前年度より八・一パーセントの増加となっております。残高のうち証書貸付金が九一億円で八〇・五パーセントを占めております。なおそれぞれ海区別実績は図表のとおりでありますので充分ご参照願います。

△ (信漁連)

現在漁業のおかれております環境は非常にきびしいものがあります。この難局を乗り切るには漁民、漁協各位の必要資金を賚る漁業金融としてさらに成長する必要があります。どうかさらにご支頂、ご尽力を賜りたくお願い申し上げます。



### 5・6月の行事

- 2 但馬漁船保険協代会
- 7 養工式
- 7 兵庫県漁業安全協会設立総会
- 9 兵庫県漁業安全協会設立総会
- 9 養工式
- 13 養工式
- 14 養工式
- 16 養工式
- 17 養工式
- 19 養工式
- 23 養工式
- 31 養工式

一滴の燃料を生かす確かな技術

## 余裕の出力、曳き力抜群!

● 船舶主機用 3.0~2400馬力  
● 船舶補機用 3.5~3600馬力

# ヤンマーディーゼル

船舶主機  
〈内海底曳用〉  
3E15B形  
(15馬力/1400回転)

ヤンマーディーゼル株式会社

### 養魚の調餌と造粒は コウベヒラガのミートチヨッパーで

養魚用ミートチヨッパーNo.32からNo.72まで各種製作しています。又最近の人工餌料需要の増加にとまなない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チヨッパーで給餌することもできます。

(御一報次第カタログ贈呈いたします)

ミートチヨッパーとプレート、ナイフの専門工場  
株式会社 平賀工作所  
神戸市長田区水釜通5番5号  
TEL 代表神戸(078) 641-7111



